

尼崎市は2016年に市制100周年を迎えます。

そこで2015年度のビギナスでは、プレ100周年企画として市内6地区について、公民館の活動を中心に特集します。お住まいの地域、よく出歩く地域について知っていただくきっかけになれば幸いです。



中央地区

大正時代まで存在した尼崎町域のエリアとほぼ同じ。かつては市役所があり、「本庁地区」とも称した。阪神尼崎駅を中心とした市の南中部。

人口(世帯数): 51,151人(26,117世帯) 2015年7月1日推計

中央公民館

尼崎市西難波町 6-14-34 (TEL: 6482-1750) Pあり(7台)

大ホール・小ホール・実習室・視聴覚室・和室×2・学習室×8・図書コーナー

子育て学習世代間交流事業「ハッピー子育て愛ランド」: 中央凸凹ひろば

中央地区では、「芋の苗植え・芋掘り」「3B体操」など充実のカリキュラム(2015年度は全16回)を設定しています。修了後、参加者で子育てサークルを立ち上げることもあります。

この事業に限らず、すべての企画は子どもも親も楽しんで取り組めるよう考えられています。イベントなどで公民館を利用した親が、子どもが大きくなってくるとボランティアを申し出てくれることもよくあり、今後はそれに応える形で、事業を企画する人(市民企画委員)、PTAや地域活動のリーダーを担ってくれる人を育てていきたいと考えています。



中央公民館独自の事業「子育て学習相談」

月～金 9:00～16:00 (面接・電話 6489-9300)

相談内容: 未就学児におけるしつけ・子育ての悩み、サークル活動等について



0歳から高齢者までを対象として、何か困ったとき、何か始めたいときには公民館へおいで!という「たまり場」的な存在を目指しています。



その他の企画・イベント

夏休み: 学習室の開放

※普段から安全な学習の場として学校帰りに宿題をする小学生の利用が多い

9月: ファミリーサポーター育成講座(ボランティアによる託児あり)

12月: 市民企画委員による企画「うたっておどってクリスマス」(2015年度で5回目)

3月: 地域で活動する小中学生の発表の場「子どもの音楽まつり」

取材を終えて・・・

地域の子どもたちと交流できる公民館として、親子を見守り、応援する姿勢が感じられました。エントランスにおすすめの絵本や児童書、イベントの案内や子育て情報を記載したリーフレットが並べられ、手に取りやすい雰囲気になっています。



(取材: 田井・松崎)